

Teine  
通信1月号  
平成16年

札幌市アイヌ文化交流センターに書の作品を寄贈

やまもと あきこ  
山元 昭子さん (富丘在住)

山元さんは、20代から多くの書道展に入賞し、昨年は二度目の日展への入選を果たしました。作品のテーマは、アイヌ文化伝承者の故知里幸恵さん\*が編さんした「アイヌ神謡集」から選んでいます。「この神謡集と出会ったのは二十数年前、当時小学生だった息子の教科書に載っていた一文でした。美しい言葉や文節が強く印象に残ったんですよ。このイメージを、ぜひ書道作品で表したくて」。

昨年12月にオープンした札幌市アイヌ文化交流センター(南区小金湯27番)に、同神謡集の有名な書き出し「銀の滴ふる降るまわりに 金の滴ふる降るまわりに」を新たに書き上げ寄贈しました。その線の強弱、墨の濃淡、躍動する筆遣いが、やわらかく、しかし力強く、見る者を魅了してやみません。

(※) 知里幸恵さん  
1903年、登別市に生まれる。  
1922年没。

札幌市アイヌ文化交流  
センターに寄贈した作品  
(縦約180cm×横約240  
cm) ▶



## 謹賀新年

謹んで新春のお喜びを申し上げます  
本年も皆さまとともにふるさと手稲のまちづくりに努めていきます  
皆さまのご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます

平成16年元旦

手稲区長 高橋 徹男